

元NSA長官と

首相補佐官会談

トランプ氏の情報収集

河井克行首相補佐官は14日、トランプ新政権の政策や人事に関する情報収集のために米国を訪問し、ワシントン市内でスタッドマン元国家安全保障局(NSA)長官やシンクタンク関係者

と会談した。河井氏によると、スタッドマン氏はトランプ次期大統領の上級顧問を務めるウールジー元中央情報局(CIA)長官に近いとされ、「最高水準の個人的な信頼関係を速やかに次期大統領と構築したい」との安倍晋三首相の意向を伝えた。河井氏は15日には、新政権移行チームの執行委員らと面会するという。

元NSA長官と会談 河井首相補佐官

【ワシントン11月14日】

河井克行首相補佐官は14日午後(日本時間15日未明)、トランプ次期大統領の新政権の情報収集のため訪米し、ワシントンでスタッドマン元国家安全保障局(NSA)長官と昼食を取りながら会談した。

両氏は安全保障政策などで意見交換し、河井氏は「トランプ氏と最高水準の信頼関係を構築したい」と安倍首相の意向を伝えた。スタッドマン氏は、17日の首相とトランプ氏との会談について「トランプ氏にとって

も極めて重要だ」と語った。

トランプ氏側と 首相補佐官会談

【ワシントン西田進一郎】米国訪問中の河

井克行首相補佐官は15日、ドナルド・トランプ次期大統領に近い保守系シンクタンク「ヘリテージ財団」のジム・デミント所長や共和党の連邦上下両院議員らとそれぞれ会談した。

河井氏によると、17日の安倍晋三首相とトランプ氏の会談について、全員から「他の世界的指導者との会談に先駆けて実現することへの期待が表明され

た」という。

河井氏は、首相の指示を受けて14日にワシントン入り。15日はシンクタンク3カ所の上級幹部や上下両院の4議員らと意見交換。16日はトランプ氏の政權移行チームのメンバーらと面談した後、首相とトランプ氏の会談が行われるニューヨークに向かう予定だ。

トランプ氏は選挙期間中、在日米軍駐留経費のさらなる負担増を日本に求めるなど「日米同盟関係の「見直し」

を主張しており、首相との会談でどのように言及するかが注目されている。

河井氏は記者団に「きょう会った全ての方々から、選挙期間中の発言の一言一句に「喜ぶべきものではないのか」との見方が示された」と語った。

首相補佐官 米議員と会談

【ワシントン11月14日】

訪米中の河井克行首相補佐官は15日、米連邦議会議員らと会談した。河井氏は「安倍晋三首相がトランプ次期大統領にとって、最も信頼できる同盟国の首脳となるだろう」と議員らに伝えたことを明らかにした。

■米に早期信頼構築働きかけ
河井克行首相補佐官は14日、トランプ次期大統領に近いとされるスタッドマン元国家安全保障局(NSA)長官とワシントンで会談し「最高水準の個人的な信頼関係を速やかに次期大統領と構築したい」との安倍晋三首相の意向を伝えた。トランプ氏が主張する駐留米軍経費の負担増などについては詳細には立ち入らなかった。【共同】